

JASDAQ

証券コード：3424

MIYAKO

ミヤコ株式会社

うるおい
通信

第58期報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日まで

潤いの創造

私たち人間は、水の「潤い」の恩恵により、この世に生を受け生きています。ミヤコは、水との係わりが極めて深い事業に携わる立場から、水がもたらす「潤い」という考え方を重視し、「共存共栄」「共生の精神」を行動原理とし、人を育て、製品やシステムを開発し、その価値を広く社会にお届けしていくことを使命と考えています。

ミヤコの行動規範

私たちは、「潤いの創造」をコンセプトとし、すべてのステークホルダーに対する当社の基本姿勢として以下の指針を定め、たゆまぬ努力を続けます。



- 1 すべての人々の基本的な人権を尊重し、法令の順守と公正な企業活動をおこないます。
- 2 製品の品質に起因する問題には、誠実・迅速に対応して解決をはかります。
- 3 市民社会に脅威を与える反社会的勢力・団体とは一切の関係を遮断します。
- 4 社会とのコミュニケーションの充実をはかり、企業情報の開示に努めます。
- 5 各々の人権と個性を尊重して、能力を最大限に発揮できる職場づくりに努めます。

株主のみなさまへ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。第58期(2007年4月1日～2008年3月31日)報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

代表取締役社長
東田 勝

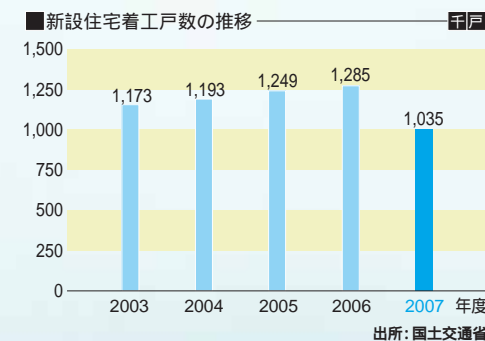


当期の事業環境について

当事業年度におけるわが国経済は、良好な企業収益を背景に低成長ながら景気は回復基調をとりましたが、米国サブプライムローン問題の影響や原油高等の不安要因により先行きは不透明な状況で推移し、景気は徐々に調整色が色濃くなりつつあります。

当社が関係する管工機材業界におきましては、原材料価格、原油価格の上昇や昨年6月の改正建築基準法施行による建築確認審査の厳格化などにより、新設住宅着工戸数は昨年7月以降大幅に減少し、第2四半期の着工数は前期比マイナス37.1%と非常に厳しい市場環境でありました。

第3四半期以降は、個人所得の伸び悩み、住宅価格の上昇、株式市場の低迷、金利の先高観の後退などから住宅投資に対するマインドを低下させる要因は多岐にわたり、依然として市場環境は予断を許さない局面でしたが、法改正による混乱は徐々に収束しつつあり、ようやく住宅着工の遅れにも回復の兆しが見え始めてまいりました。



TOP MESSAGE

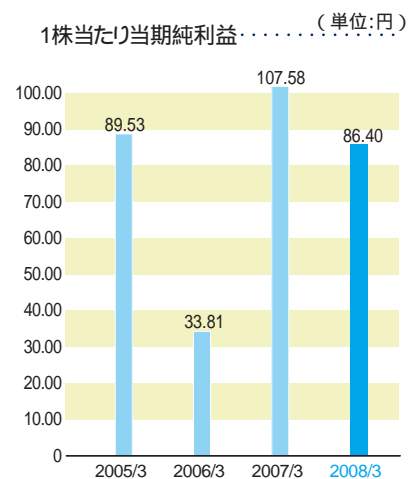
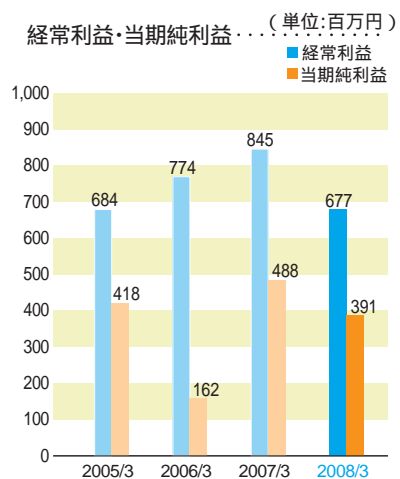
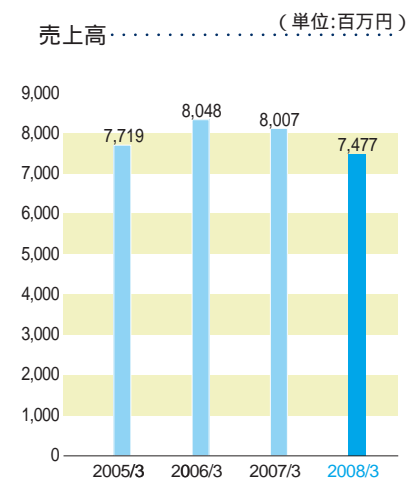
トップメッセージ

当期の取り組みについて

このような事業環境のなか、当社は、自社ブランド製品の拡販と指定化および開発・改良と品揃えに加え品質の向上を推し進めてまいりました。また、物流のアウトソーシング化などにも注力し、さらなる堅実経営のための企業体質作りに取り組んでまいりました。

当期の業績について

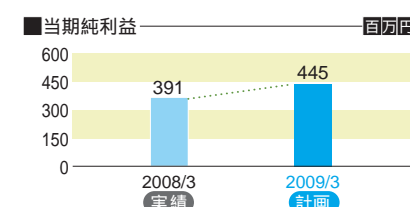
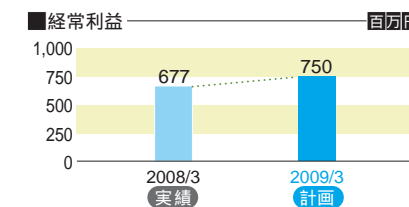
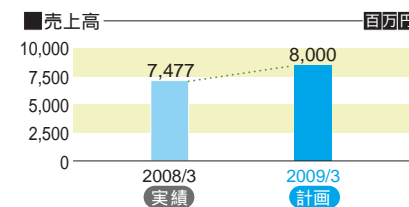
当事業年度における売上高は、74億7千7百万円(前期比6.6%減)となりました。利益面では、営業利益は6億2千万円(前期比21.4%減)、経常利益は6億7千7百万円(前期比19.9%減)となり、当期純利益は3億9千1百万円(前期比19.8%減)となりました。



次期の見通しについて

次期におきましては、改正建築基準法により建築確認手続きが厳格化された影響で、住宅着工数の減少が続いておりましたが、円滑な施工に向けた対策が通達されたことにより回復に向かうと思われます。しかしながら、原材料価格が一段と上昇する懸念があり、依然として先行きが不透明な状況が続くものと思われます。

このような見通しのもと、当社は堅実経営を更に追求し、販売力の強化、自社ブランド製品を中心とした新製品の開発および品揃えの強化、売れ筋製品の安定供給と品質管理の向上に努めてまいります。また取引先の信用管理、戦力となる人材の確保・育成と組織の活性化、内部統制の強化に積極的に取り組み、全社をあげて業績の向上に努めてまいります。



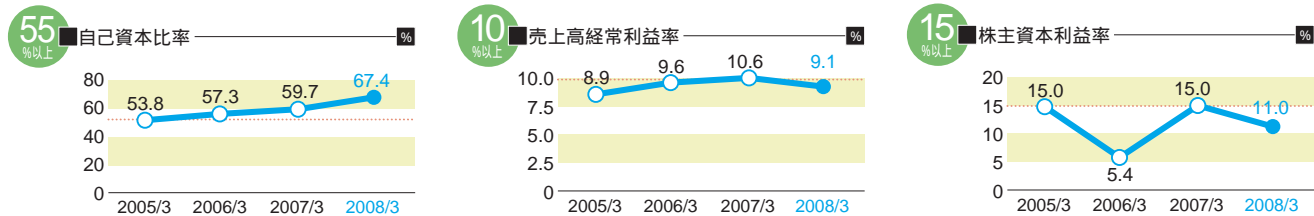
今後の戦略と取り組みについて

当社は、厳しい事業環境のなかで確かな経営を推進するために、拡大指向よりも「さらなる堅実経営を目指して」を基本方針として、外部環境に左右されることなく次のような施策を実行し、財務基盤の強化を図ってまいります。

中期経営戦略

- 基本方針
さらなる堅実経営を目指して
- ① 自社ブランド製品の開発および品揃えの強化
 - ② 自社ブランド製品の指定化の強化
 - ③ 人材による成長戦略

目標とする経営指標



今後の事業環境の見通しにつきましては、新設住宅着工戸数の落ち込みは、やや改善の兆しが見られるものの、物価の上昇基調に伴う消費者マインドの冷え込みや、原油をはじめとする原材料の変動、世界経済の減速感による設備投資の落ち込みなど、景気の下振れのリスクは強まり、先行きは懸念されます。

このような環境に対応するため、

- 1 市場低迷に対応したシェアの確保
- 2 原材料高騰に伴う対応
- 3 売れ筋製品在庫の確保と品質の維持による安定供給

に取り組んでまいります。

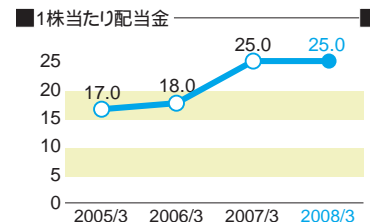
配当の考え方について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策と認識し、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた適正な配当水準の維持向上に努めることを基本方針としております。

また、内部留保金につきましては、財務体質の強化を図りながら、事業拡大のための研究開発費用や設備投資等に役立てる考えであります。

配当につきましては、株主への利益還元策の一環として、中間配当金は1株につき10円を行い、期末配当金は1株につき15円とさせていただきます。

また、次期の年間配当金は、1株につき普通配当25円(中間配当金10円、期末配当金15円)を予定しております。



洗濯機防水パン用トラップの革命品～トルネードトラップ



洗濯機パン用
縦引トラップコンパクト型



洗濯機パン用
横引トラップコンパクト型

- トルネード排水** うずの力で、排水をスムーズに行います。
- お手入れ** 排水ホースを接続したまま、らくらくトラップのお手入れができます。
- 品質確保促進法に対応** 塩ビ管との接着確認が床上から容易に行うことができます。
- コンパクト設計** 本体がコンパクトになり、施工しやすくなりました。

電気温水器用樹脂トラップ



MB50TY

電気温水器やエコキュートなどのオーバーフローした温水をトラップに導き排水します。耐熱樹脂を使用、耐熱性(耐熱温度90度)、耐食性に優れています。

排水ホースロングアダプタ アプタ

M25APT



塩ビ管(VU50)への接続器具が排水ホースに接続できます。排水ホースで面倒な芯出しが不要です。半透明で器具との接着確認ができます。別売品のナット・パッキンセットでVP・VU40に変換できます。排水ホースはM25APTHをご使用ください。

M25APTH

M14TN

FINANCIAL DATA

財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科目	当事業年度 (平成20年3月31日現在)	前事業年度 (平成19年3月31日現在)	科目	当事業年度 (平成20年3月31日現在)	前事業年度 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	4,474,131	4,756,522	流動負債	1,707,439	2,249,654
現金及び預金	1,115,557	1,056,140	支払手形	666,650	1,063,837
受取手形	1,559,502	1,885,887	買掛金	725,726	687,691
売掛金	921,704	985,685	短期借入金	90,000	120,000
たな卸資産	783,606	747,662	1年以内返済予定長期借入金	-	3,400
繰延税金資産	31,619	38,556	未払金	51,906	65,053
その他	67,141	52,790	未払法人税等	83,121	219,642
貸倒引当金	5,000	10,200	賞与引当金	55,000	55,000
			役員賞与引当金	11,000	11,000
固定資産	940,977	997,272	その他	24,034	24,029
有形固定資産	540,682	546,688	固定負債	57,321	70,832
建物	91,939	100,238	役員退職慰労引当金	52,520	45,162
土地	410,497	410,497	預り保証金	4,801	25,669
その他	38,245	35,951	負債合計	1,764,761	2,320,487
無形固定資産	9,399	5,908	(純資産の部)		
投資その他の資産	390,895	444,675	株主資本	3,636,044	3,377,024
投資有価証券	120,132	174,046	資本金	564,952	564,952
繰延税金資産	105,825	104,171	資本剰余金	119,774	119,774
その他	167,692	169,721	利益剰余金	3,015,984	2,742,500
貸倒引当金	2,754	3,264	自己株式	64,665	50,201
			評価・換算差額等	14,303	56,283
資産合計	5,415,109	5,753,795	純資産合計	3,650,348	3,433,308
			負債純資産合計	5,415,109	5,753,795

損益計算書

(単位:千円)

科目	当事業年度 [自平成19年4月1日 至平成20年3月31日]	前事業年度 [自平成18年4月1日 至平成19年3月31日]
売上高	7,477,697	8,007,873
売上原価	5,450,578	5,752,248
売上総利益	2,027,119	2,255,625
販売費及び一般管理費	1,407,029	1,467,157
営業利益	620,089	788,467
営業外収益	88,340	90,032
営業外費用	31,298	33,225
経常利益	677,132	845,274
特別利益	3,279	2,004
特別損失	8,834	8,508
税引前当期純利益	671,576	838,771
法人税・住民税及び事業税	247,000	338,000
法人税等調整額	33,270	12,733
当期純利益	391,306	488,038

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当事業年度 [自平成19年4月1日 至平成20年3月31日]	前事業年度 [自平成18年4月1日 至平成19年3月31日]
営業活動による キャッシュ・フロー	277,311	566,581
投資活動による キャッシュ・フロー	52,271	17,475
財務活動による キャッシュ・フロー	165,622	212,789
現金及び現金同等物 に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の 増減	59,417	371,266
現金及び現金同等物の 期首残高	1,056,140	684,873
現金及び現金同等物の 期末残高	1,115,557	1,056,140

株主資本等変動計算書

当事業年度(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本										評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金 繰越利益剰余金 合計						
平成19年3月31日残高	564,952	118,386	1,388	119,774	68,339	1,500,000	1,174,161	2,742,500	50,201	3,377,024	56,283	56,283	3,433,308
事業年度中の変動額													
別途積立金の積立						300,000	300,000	-		-			-
剰余金の配当							117,822	117,822		117,822			117,822
当期純利益							391,306	391,306		391,306			391,306
自己株式の取得									14,464	14,464			14,464
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)											41,979	41,979	41,979
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	300,000	26,516	273,483	14,464	259,019	41,979	41,979	217,040
平成20年3月31日残高	564,952	118,386	1,388	119,774	68,339	1,800,000	1,147,645	3,015,984	64,665	3,636,044	14,303	14,303	3,650,348

2008年版「ミヤコカタログ」を発行します

2008-2009年版「総合カタログVol.56」を発刊いたします。
新掲載商品がさらに充実した内容となっております。



管工機材・設備総合展に出展

2007年9月13日から15日にインテックス大阪に於いて
「第13回管工機材・設備総合展」が開催され当社も出展しました。
当社の得意とする排水器具や新製品などを展示しアピールいたしました。



会社の概要 (平成20年3月31日現在)

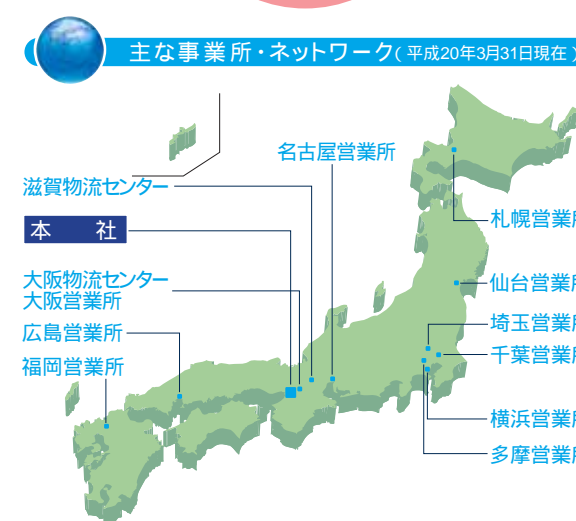
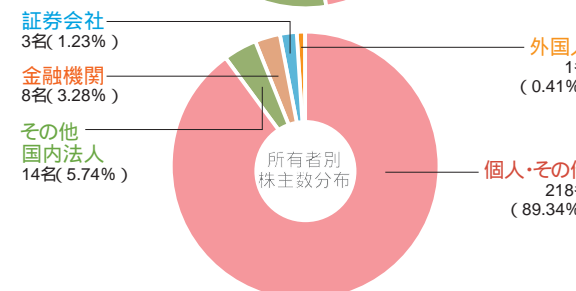
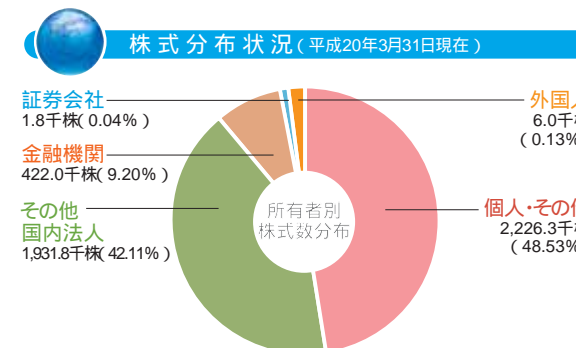
商号	ミヤコ株式会社
所在地	大阪市北区天満1丁目6番7号
設立	1951年1月
資本金	5億6,495万円
代表者	東田 勝
事業所	全国13拠点
取引銀行	三井住友銀行・三菱東京UFJ銀行 百十四銀行・中央三井信託銀行
事業内容	住宅の水まわりパーツの開発・設計・販売

役員 (平成20年6月27日現在)

代表取締役社長	東田 勝利
常務取締役	多谷 昌利
取締役	石原 俊幸
取締役相談役	東田 泰夫
社外取締役	向井 彦夫
常勤監査役	加藤 隆夫
社外監査役	菊山 勝久
社外監査役	正木 丈雄

株式数及び株主数 (平成20年3月31日現在)

発行可能株式総数	13,900,000株
発行済株式総数	4,587,836株
株主数	244名



株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 6月中に開催
- 株主確定基準日** (1)定時株主総会、期末配当金3月31日
(2)中間配当金9月30日
(3)その他必要のあるときはあらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数** 1,000株
- 会計監査人** 大阪監査法人
- 株主名簿管理人** 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
- 郵便物送付先** 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
- お問い合わせ先** フリーダイヤル0120-78-2031
下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用下さい。
フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付)
ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html
- 同取次所** 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
- 単元未満株式の買取・買増請求場所**
上記株主名簿管理人の事務取扱所・取次所
- 公告方法** 電子公告の方法により下記のミヤコホームページに掲載します。
但し、やむを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞に掲載します。
ホームページアドレス <http://www.miyako-inc.jp/ir/index.htm>
- 上場市場** ジャスダック証券取引所
- 証券コード** 3424

お問い合わせは、下記までご連絡ください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目6番7号
ミヤコ株式会社 管理部総務課
電話(06)6352-6931 FAX(06)6354-0031
ホームページアドレス <http://www.miyako-inc.jp>

郵便貯金口座配当金受取サービスのご案内

銀行口座に加え、郵便貯金口座(通常貯金口座)へのお振込みによるお受け取りができるようになりましたので、ご希望の株主様は、上記の株主名簿管理人あてに配当金振込指定書をご請求のうえ、お申し込みください。

